

リアルタイムOS HI7200/MP ご使用上のお願い

SH2A-DUAL用リアルタイムOS HI7200/MPの注意事項を連絡します。

- タスクのTA_COP1属性に関する注意事項
- キャッシュサポートライブラリ使用時にアドレス範囲を指定する場合の注意事項

1. タスクのTA_COP1属性に関する注意事項

1.1 内容

TA_COP1属性が指定されたタスクに関し、FPUのレジスタ値が不正な値に書き換えられる場合があります。

1.2 発生条件

以下の(1)、(2)および(3)、または(1)、(2)および(4)に該当する場合に発生する可能性があります。

- (1) TA_COP1属性が指定されたタスクが存在する。
- (2) (1)項のタスクは、ext_tskサービスコールの呼び出し、またはタスク開始関数からのリターンによって終了する。
- (3) (1)項のタスクの、タスクの起動要求キューイング数が1以上になる使い方をしている。
- (4) 割込みハンドラまたはタイムイベントハンドラから、(1)項のタスクを起動(iact_tskまたはista_tskサービスコールを発行)している。

1.3 解決策

本問題は、10月1日リリースのV.1.00 Release 04で改修しました。

V.1.00 Release 04へのアップデート方法は、10月1日発行 RENESAS TOOL NEWS 資料番号 091001/tn7 を参照ください。

以下のURLでも参照できます。(10月5日から公開予定)

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/091001/tn7.htm>

2. キャッシュサポートライブラリ使用時にアドレス範囲を指定する場合の注意事項

注意事項は2点あります。

2.1 注意事項1

2.1.1 内容

ライブラリ関数sh2adual_clr_cac()およびsh2adual_fls_cac()で処理対象アドレス範囲を指定した場合に、指定範囲の一部が処理されない、または指定範囲外が処理される、またはその両方が起きる場合があります。

2.1.2 発生条件

- (1) 指定した範囲のサイズが4kB以上で、引数pStartを16の倍数に切り捨てた値が0x800の倍数以外の場合に、処理されるべき以下の範囲が処理されません。
 - 開始アドレス：引数pStartを16の倍数に切り捨てた値
 - 終了アドレス：引数pStartを0x800の倍数に切り上げた値 - 1
- (2) 指定した範囲のサイズが4kB以上で、引数pEnd+1を16の倍数に切り上げた値が0x800の倍数以外の場合に、処理されるべきでない以下の範囲が処理されます。
 - 開始アドレス：引数pEnd+1を16の倍数に切り上げた値
 - 終了アドレス：引数pEnd+1を0x800の倍数に切り上げた値 - 1

なお、「指定した範囲のサイズ」とは、以下で算出されるサイズです。

(引数pEnd+1を16の倍数に切り上げた値) - (pStartを16の倍数に切り捨てた値)

2.2 注意事項2

2.2.1 内容

sh2adual_fls_cac()で処理対象アドレス範囲を指定した場合に、指定範囲がオペランドキャッシュからクリアされてしまう場合があります。

2.2.2 発生条件

指定した範囲のサイズが4kB未満の場合に発生します。

なお、「指定した範囲のサイズ」とは、以下で算出されるサイズです。

(引数pEnd+1を16の倍数に切り上げた値) - (pStartを16の倍数に切り捨てた値)

2.3 解決策

本問題は、10月1日リリースのV.1.00 Release 04で改修しました。

V.1.00 Release 04へのアップデート方法は、10月1日発行 RENESAS TOOL NEWS 資料番号 091001/tn7 を参照ください。

以下のURLでも参照できます。(10月5日から公開予定)

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/091001/tn7.htm>

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.